



南中だより



令和7年12月24日 校長 碓井 浩枝 12月号

行事を通して大きく成長した2学期

校庭の木々もすっかり葉を落とし、冬本番を迎えました。令和7年度2学期も終業式を迎えました。今学期は、本校教育活動の両輪ともいえる大きな行事がありました。

白樺祭では、曲を仕上げていく過程は、どのクラスも決して平坦な道のりではなかったはずです。音程が合わない、練習に身が入らないなどといった葛藤を乗り越え、実行委員や指揮者、伴奏者を中心に「一つのハーモニー」を作り上げました。本番、ステージに立つ生徒達の表情は、自信に満ちあふれていました。自分の声を隣の仲間に預け、仲間の声を自分の力に変える。あの瞬間に生まれた「一体感」こそが、白樺祭で得た最大の宝物です。

そして体育祭では、白樺祭で結ばれたクラスの絆、きょうだい学級の絆をより強いものにすることができました。全力で土を蹴り、仲間を枯れるほどの声で応援する生徒達の姿には、理屈抜きの感動がありました。勝敗はつきましたが、それ以上に価値があったのは、一つのゴールに向かってクラスが！きょうだい学級が！団結していくプロセスです。そして、学年の絆もより強いものにしていました。体育祭でのあの「躍動」は、集団の中で自分を輝かせることの素晴らしさを教えてくれたのではないのでしょうか。

これら二大行事を通して、生徒達は「主体性」と「協調性」を一段と高めました。行事で見せたあの集中力と団結力は、これからの学習や生活、そしてそれぞれの進路選択の大きな力になると確信しています。また、行事成功の裏には、ご家庭での温かな励ましや、体調管理、お弁当の準備といった細やかな支えがありました。生徒達が学校で見せる輝きは、安心できる家庭という土台があってこそです。今学期の多大なるご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。

冬休みは『心の充実と安全』を！

冬休みは、1年を締めくくり、新しい年を迎える特別な時間です。生徒達には、この長期休暇を単なる「休み」とするのではなく、次の3つのことを意識して過ごしてほしいです。

①「感謝」を形にする

家族の一員として大掃除や行事の手伝いを行い、支えてくれる人に感謝を伝えること。

②「目標」を再確認する

3学期、そして次年度に向けて、自分がどうありたいかを静かに考えること。

③「命」を大切にする

SNSの使い方や交通事故に十分注意し、規則正しい生活を送ること。

1月、一回り成長した生徒たちの笑顔に再会できることを楽しみにしています。

冬期講座開催！～『頭を動かす！』『体を動かす！』『胃袋を動かす！』～

真面目な！？学習の他に楽しい企画も盛りだくさんです。12月25日午後は、焼き芋をするので、大人の方のご協力があるとたいへん助かります。興味のある方は、ぜひご連絡ください。